

# デザイン広告 制作・入稿ガイド

株式会社 えひめリビング新聞社

2025年11月

## Content

広告のサイズ、制作環境	・・・・・・・・・・ P 2
制作時の注意事項	・・・・・・・・・・ P 3、4
入稿PDFの作成方法	・・・・・・・・・・ P 5

# 制作環境

## □使用アプリケーション

Adobe Illustrator、Photoshopを使用し作成（CS2ver以上）

※エクセル、ワード、パワーポイントで制作したデータおよびそれをPDF化したデータは印刷に不適切です

## □メール入稿

データサイズが7MB以上の場合はファイル転送サービスの利用をお願いします

# 広告のサイズ

## ■基本サイズ

### ▼天地（縦）

1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段	8段	9段	10段	11段	12段	13段
27mm	56mm	85mm	114mm	143mm	172mm	201mm	230mm	259mm	288mm	317mm	346mm	375mm

### ▼左右（横）

半段	全段	完全見開き	1/3割	1/4割
124mm	250mm	520mm	82mm	61mm

## ■スポット広告

- フロント題字横 天地30mm×左右60mm
- 題字横 天地27mm×左右70mm
- 突き出し2段 天地56mm×左右60mm
- 突き出し3段 天地85mm×左右60mm
- 突き出し4段 天地114mm×左右60mm

※企画など、特殊サイズのものは  
営業担当にご確認ください

## 広告データは[PDF/x-4]または[x-1a]でご入稿ください

※作業用(ai/psd等)データやリンク画像は必要ありません。PDFのみをご入稿ください ★弊社はPDF/x-4を推奨しています  
※入稿されたデータの修正は受け付けられません ★PDFの書き出し方法はP5参照

- 広告データ名は掲載日、  
広告主様の名前、  
作成サイズを記載ください。

(例) 0519-愛媛リビング工務店仮-全3段.pdf  
掲載日 広告主様の名前 作成サイズ

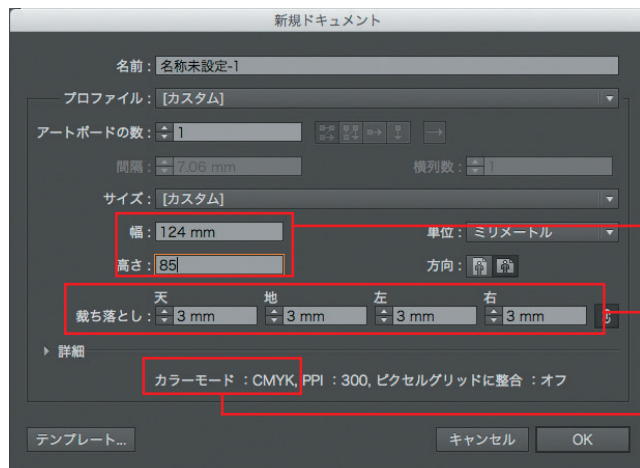
- ★見本PDFを添付される方は、かならず見本データ名の最初に「見本」もしくは「確認用」と記載してください  
※記載がない場合に見本データと本データの取り違いが生じても、当方では責任を負いかねます。
- ★原稿を修正し再入稿する場合は、データ名の最初に「再」と記載のうえ、変更箇所をお伝えください

# 制作時の注意事項

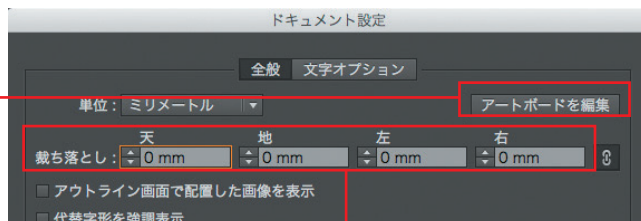
## ■原稿サイズ、裁ち落とし、カラーモード

- 新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて**原稿サイズ**をドキュメントサイズとして設定①
- 裁ち落としを天地左右0mm(紙誌により例外あり)に設定②
- カラーモードをCMYKに設定③

▼新規ドキュメント作成画面



▼ドキュメント設定画面



## ■広告野に関して

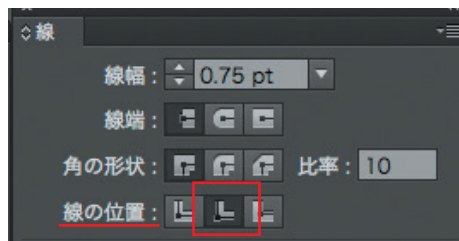
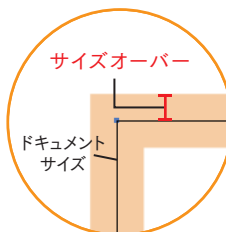
広告領域を明確にするために全体を**[広告野]**で囲んで下さい。

全体にはっきりと可視できる地色を敷いたり、写真を敷くことで広告野に代えることも可能です。

※野線の太さはスミ100%の場合**0.1mm以上**、その他の色は**0.2mm以上**としてください

※線の位置を内側

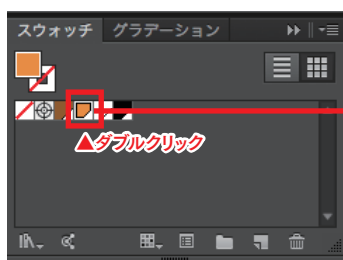
ドキュメントに対し野線で巻く(パスで設定)=拡大図の中心線よりハミ出ている分はサイズオーバーです。  
必ず線の位置を内側※にするなどして、ドキュメントサイズからハミ出ないように注意してください。



## ■使用色

**CMYK、グレースケールのみ**。RGBや特色(スポットカラー)は使用不可です

! 特色(スポットカラー)がある場合はプロセスカラーに変更してください



## ■ フォント

フォントは全てアウトライン化してください(埋め込み不可)

※フォントデータを含む孤立点などは原稿データに残さないようご注意ください

### 【注意】

文字は6.5Q以下の大きさや、8.5Q未満の抜き文字、0.1mm未満の罫線、4色掛け合わせの小さな文字は正常に印刷されない場合がありますのでご注意ください

## ■ トンボ、塗り足し

「リビングまつやま」の広告原稿は**トンボや塗り足しは不要**です。

## ■ 使用画像

カラーモードが**CMYKのもの**。掲載の実寸サイズで解像度300～350dpi推奨です

※解像度が低く画質の悪いものや、必要以上に重たいデータは使用しないようご注意ください

## ■ オーバープリント

カラー部分の**オーバープリント設定はトラブルの原因になりますので使用しないでください**



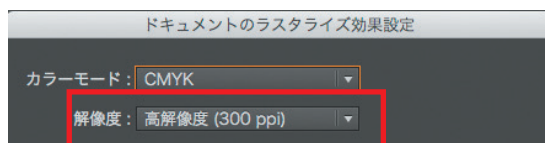
墨ベタ(K100%)で作成された部分は印刷では「墨ノセ(ブラックオーバープリント)\*」という処理を自動的におこないます。墨ノセは、背面にある色と、前面にあるブラックを重ねて印刷します(透明効果の乗算に似ています)。

背面に色が入る場合はCMYのいずれかを1%足すなどすると、墨ノセを回避できます。



## ■ 効果メニュー

[効果]メニューの[ドキュメントのラスタライズ設定]の[解像度]は300ppi以上推奨です

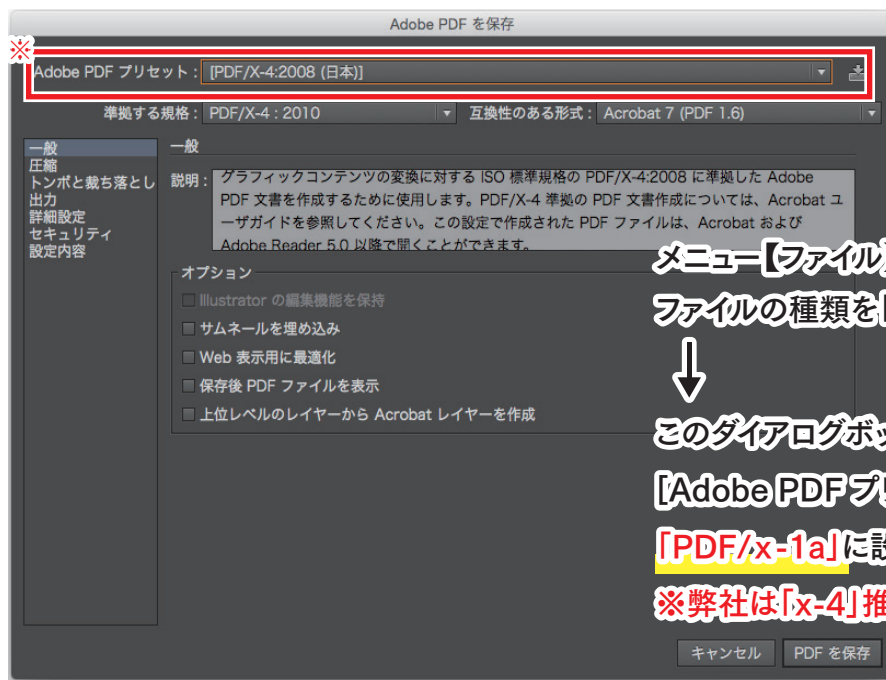


## ■ その他注意事項

○二次元コード(QRコード)は微妙な版ずれによるトラブルを防ぐため**原則K100%**で作成してください

○パターンを使用している際は分割・拡張を行っていると安心です

# 入稿PDFの作成方法



◀ここを変更してください

メニュー【ファイル】→【別名保存】より

ファイルの種類を「PDF」にして保存をクリック



このダイアログボックスが表示されたら

「Adobe PDFプリセット※」を「PDF/x-4」または「PDF/x-1a」に設定してPDFを保存してください。

※弊社は「x-4」推奨です

## PDFチェック方法

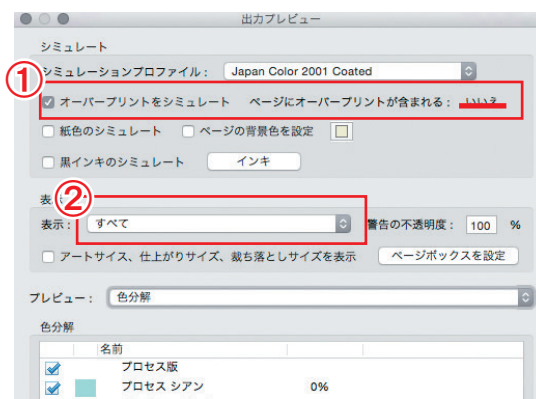
### 【Adobe Acrobat/Reader】でのPDFチェック手順

作成していただいたPDFが入稿用のものになっているか下記の手順でご確認いただけます

#### ●カラーの確認

【ツール】→【印刷工程】→【出力プレビュー】

- ①「オーバープリントシミュレート」の項目が「いいえ」になっているか
- ②「表示」タブをクリックし特色、RGBにしたときに表示されないか



#### ●プリフライトの確認

【ツール】→【印刷工程】→【プリフライト】

「PDF/x-4」で作成の場合・・・

「PDF/x-4への準拠を確認」を選択し「解析」をクリック。

「PDF/x-1a」で作成の場合・・・

「PDF/x-1aへの準拠を確認」を選択し「解析」をクリック。

「問題は検出されませんでした」と表示されればOKです。

